

金函玉鏡利用方法

1. 盤の見方 目的地設定	P1
2. 金函玉鏡 日盤を利用する際の「方角」について	P2
3. 目的地設定にはアプリが便利	P2
4. 目的地への出発時間 金函玉鏡盤の場合	P3
5. 現地での過ごし方と効果的な方位取りとは?	P3 ~ P6
6. 出発時間は自然時を使用	P7
7. 目的地への出発時間 奇門遁甲時盤の場合	P8
8. 吉方位取り以外に金函玉鏡日盤を利用する方法	P9

※通常の「金函玉鏡1年間鑑定放題」には、奇門遁甲時盤は付属していません。

※奇門遁甲時盤は別途お買い求めいただく必要があります。

1. 盤の見方 目的地設定

金函玉鏡日盤を大幅に改善しました!

利用できる方位は、ピンクで色分けされた方位になります。

ピンクの方位の中から、利用する方位を決定し、その方角に目的地を設定。

徒歩・自転車・自動車・公共機関ともに、2時間で移動できる場所を目的地として設定します。

※徒歩や公共機関などにより、出発時間は変わってきますので、あとに説明する「目的地への出発時間」を参照してください。

<p>南東 (巽) ○ 小吉方位。酒食に良い</p> <p>●杜門</p>	<p>南 (離) -</p> <p>●景門</p> <p>●天符</p>	<p>南西 (坤) ×</p> <p>●死門</p> <p>●咸池</p>
<p>東 (震) -</p> <p>●傷門</p> <p>■傷門のキーワード 負傷、投機</p> <p>■門の特徴 相手を負傷させることや他人を損ねることによって自分が儲かる ●競馬・競輪・競艇などのギャンブルや、株・商取引など、投機的なことに使用すると良い結果を出す方位 ●貸した金銭の取り立てや催促にも最適。</p> <p>●大陰</p> <p>吉星：全てに吉。求財に良く、貴人（地位や家柄が高い人）が現れる。</p>	<p>戊子 陽</p> <p>方位取り日 最適 すべてが大吉</p>	<p>西 (兌) ×</p> <p>●驚門</p> <p>■驚門のキーワード 突発、驚愕、疑惑</p> <p>■門の特徴 病気・疾病などの驚事に陥りやすい。</p> <p>●軒輊</p> <p>小凶星：驚愕するような出来事に遭遇。ものごとがうまく進まない。</p>
<p>移動に利用する方位</p> <p>方位の評価・利用例</p> <p>門の名前</p> <p>門の大きな意味</p> <p>1番重要な箇所</p> <p>この方位を利用することにより得られる運氣や適した利用方法などが書かれています。</p> <p>実際に利用して効果のあった使用例を抜粋</p> <p>門がこの方位に入ったときはさらに門の効果が増す</p> <p>より効果の上がる目的地の例</p> <p>2番重要な箇所 九星の名前</p> <p>この方位を利用することにより得られる運氣や適した利用方法などが書かれています。</p>	<p>① 北 (坎) ◎</p> <p>② 一番の大吉方位。すべてに利用可能</p> <p>③ ●休門</p> <p>④ ■休門のキーワード 休息、安定、順調</p> <p>⑤ ■門の特徴 すべての事柄に吉。特に有力者との面会、移転、旅行、新築修造、和議和解、赴任、求財借財の申し込み、娯楽、酒食、商取引のすべてが大吉 ●ギャンブルなど勝負事にも吉 ●休養や入院など、体を休めて活力を取り戻すのに最適 ●恋愛利用には、相手に好印象を与える ●女性からの告白は好結果をもたらす ●北に入ると更に強運で、求財、有力者との婚姻に効果を発揮。</p> <p>⑥ ■具体的な使用例 入院や治病、他は門の特徴を参照</p> <p>⑦ ■運氣が増す方位 北・西・北西</p> <p>⑧ ■移動の場所 海に見える場所</p> <p>⑨ ●青龍 大吉星：喜び事、財産、婚姻、諸事に大吉方位。人からの援助、移転・赴任にも大吉。生門と組み合わせて求財に使用。友人との酒食もよし。</p>	<p>北西 (乾) ○</p> <p>半吉方位。使用可能だが慎重な行動を</p> <p>●開門</p> <p>■開門のキーワード 収穫、開放、始まり</p> <p>■門の特徴 強運の方位。有力者との面会、名誉なこと、開店開業、昇級赴任すべてに大吉 ●仲間同士の会合や酒食 ●神仏に祈願するとご利益が得られる可能性大 ●北西に入ると更に強運で万事が成就の可能性あり ●秘密事には利用不可。</p> <p>■具体的な使用例 恋愛成就・男性からの告白、他は門の特徴を参照</p> <p>■運氣が増す方位 北・西・北西</p> <p>■移動の場所 寺社仏閣・名所旧跡巡りなど</p> <p>●撮堤</p> <p>大凶星：災難多発の方位。すべて意のままにならない。言動により他人を傷つける恐れあり。</p>

基本的に利用できる「門」は、上吉門の「休門」「生門」「開門」中吉門の「景門」のみです。

4つの門に関しては、上記の説明にあるよう、利用方法が書いてありますので、その書いてある内容に応じた使い方をします。

ピンクの背景でも、「杜門」「傷門」「驚門」は、あまり勧めておりません。

真ん中の白い枠は、その日が方位取りに適しているかの判定(折日)。

2. 金函玉鏡 日盤を利用する際の「方角」について

移動時に使用する方位は、真北を使用します。地図上で表示される北です。

方位磁針(コンパス)で示される北は真北とはズレ(磁気偏角)がありますので基本的には使用しません。

また、移動する方角についてですが

吉方位が北の場合、北東寄り、北西寄りの北へ移動するよりは、北の真ん中に近い方がより良いわけです。

細かいようですが、より良い結果を得るために心がけておきましょう。

3. 目的地設定にはアプリが便利

目的地を設定するために、スマホアプリのダウンロードをお勧めします。

金函玉鏡では、八方位は全て45度に設定します。

「iOS」の場合は、App Storeで「開運方位マップ」を

「Android」の場合は、Google Playで「あちこち吉方位マップ」をインストールしてください。

インストールを終えたら、以下のように設定します。

あちこち吉方位マップ

方位線の種類を 風水45／45に設定。

開運方位マップ

各種設定より、風水45度に設定／偏角自動設定をOFF／偏角指定を0に設定後トップに戻ります。

4. 目的地への出発時間 金函玉鏡の時盤を利用する場合

目的地が決まれば、次は下の表より、自宅を出発する時間を決めます。

	出発時間	①	出発時間の黄道・黒道	②
×	23時～1時	金匱黄道	吉神 すべてが順調に運ぶ	五不遇時
◎	1時～3時	天徳黄道	吉神 平穏無事に物事が推移する	天乙貴人
	3時～5時	白虎黒道	凶神 出血、破れあり	
○	5時～7時	玉堂黄道	吉神 就職 貴人との面談に良し	
	7時～9時	天牢黒道	凶神 すべての行動に邪魔が入る	
	9時～11時	玄武黒道	凶神 盗難にあう。ギャンブルや勝負事には不向き	
×	11時～13時	司命黄道	吉神 就職に良い。ただし夜間には使えない	截路空亡
×	13時～15時	旬陳黒道	凶神 すべてに凶	截路空亡 天乙貴人
○	15時～17時	青龍黄道	吉神 求財に特に良し、すべてに使用可	
○	17時～19時	明堂黄道	吉神 すべてに良い	
	19時～21時	天刑黒道	凶神 様々な障害あり。訴訟や争いごとあり	
	21時～23時	朱雀黒道	凶神 口論。中傷、確執あり	

出発できる時間は①の枠の赤字「○○黄道」ですが、②の枠内に「五不遇時と截路空亡」がある場合は出発できません。上の見本でいうと、「×」の時間帯には出発できません。

出発できる時間の中でも②の枠内に「天乙貴人」がある場合は、出発に最適な時間といえます。よって、①の「○○黄道」と②の「天乙貴人」が重なる時間帯が最高の出発時間になります。

上の見本では、黄色の背景が付いた時間帯が最高の時間帯です。「1時～3時」次にピンクの背景の付いた時間帯が利用できます。

移動手段による、出発時間の違い

徒歩で方位取りをする場合は、出発時間の真ん中の時間を選択。例えば、吉時間が11時～13時の場合は、12時に出発します。

複数の交通期間を利用するときは、「最も高速かつ移動距離の長い乗り物の出発時間」を最重視すべきと定められています。たとえば、自宅から、目的地を沖縄に設定し、方位取りに行く場合は、空港を発つ時間が出発時間となります。空港までの経路でバスや電車を使ったとしても、「交通機関を利用する際の法則」を見ると一目瞭然ですね。

5. 現地での過ごし方と効果的な方位取りとは？ 現地で最初になすべきこと

目的地での滞在時間は2時間が原則です。どうしても時間がとれない場合は、1時間でもいいでしょう。

時間的な余裕がある場合は、1泊して、ゆっくり温泉に入ったり、現地で収穫された素材の料理を食べることは、方位を使ううえで非常に効果のあることとされています。なお、3泊以上の場合は、往路だけでなく復路の方位も考慮する必要が出てきます。

目的地に着いた直後にすることは、現地に神社があれば、参拝を最初にすませます。このとき注意すべき重要なポイントは、神社に対しては「挨拶」のみで、「お願い事」をしないことです。「挨拶」の一例を挙げてみます。「本日は○○神社に来させていただき、本当にありがとうございました。○○神社のますますの発展を、心よりお祈り申し上げます」これは、「お願い事」を実現するのは自分自身であって、決して神仏が実現するのではないからです。むしろ神仏は、その自分に「お願い事」を実現するためのパワーを与えてくださいます。したがって、神社仏閣から少し離れた場所で、自分自身すなわち高次元の自分に「お願い事」をしてください。

目的地に神社仏閣がなければ、現地の古い大木や巨石など自然に対して、感謝の意を唱えてください。それらの自然には、神が宿っていると思ってください。それもなければ、午前中ならば太陽に祈ることでよいと思います。

金函玉鏡の秘術の紹介 (堅苦しく考え過ぎず、できる範囲のことを実践)

以下の秘術は、林巨征氏の著書 決定版「金函玉鏡」方位術 奥義・現代方位術大全 より抜粋し引用しております。

さらに効果的な現地での行いを林先生の著書より抜粋して、引用させて頂いておりますので、目的に応じた現地での行いを実践されてみてはいかがでしょうか。

五気に則った5つの開運法

ここでいう五気とは、本気、火気、土気、金気、水気の5種類の方法を意味します。木気なら木を用い、火気の場合は火を燃やし、土気の場合はお砂取り、金気の場合は金属の玉埋め、水気の場合はお水取りを行うものです。

生まれ年の干支や月の干支・日の干支は以下で検索することができます

<https://keisan.casio.jp/exec/system/1189949688>

①青龍木気の法

甲乙年生まれ・丙丁年生まれ・壬癸年生まれの者が用いると、特に効果があります。

他の干の生まれの者は、甲・乙・丙・丁・壬・癸の年が巡るときに行なうとよいでしょう。

目的

新しい事を始めるとき。新規事業、転居などによい。

吉方位の森林へ移動し、十分な森林浴を行う。

これは、いちばん簡単な方法です。現代では、土地開発等によって森林浴に適した森が少なくなりつつあるのは大変残念なことですが、地方の神社には森の中にある場合が多いので、利用できます。森林浴そのものも大変気持ちのよいものですが、それに加えて開運につながるとなれば、利用しない手はありませんね。森林にとどまる時間ですが、一般には、最低2時間以上とされています。ただ2時間も森でぶらぶらするわけにもいかないので、自分が納得するまででけっこうです。とくに神社には大木が存在していることが多いので、それを利用して気を摂取します。境内にあるご神木に手のひらを当てて、エネルギーをもらうのです。木から手のひらを通じてエネルギーを吸い取り、それを体中に巡らせて、足の裏から大地へ吐き出します。木がそれを吸い取り、また手のひらからエネルギーをもらう循環ができあがります。これを5分から10分程度、実行してください。

吉方位より樹木を購入し自分の庭に植える。

この方法は、吉方位に出かけていき、現地のフラワーショップで樹木を買って帰り、自宅の庭に植えるというものです。

現代では、マンションなどの集合住宅でも大丈夫なように、気に入った植物を購入して、鉢植えにして部屋に置く方法が一般的。

②朱雀火気の法

甲乙年生まれ・丙丁年生まれ・戊己年生まれの者が用いると、特に効果があります。

他の干の生まれの者は、甲・乙・丙・丁・戊・己の年が巡るときに行なうとよいでしょう。

目的

社会的地位の向上。活動的な運をつくり、家運の発展をはかります。

線香法

吉方位に線香を十束以上、地中に直接に立てて土で倒れないように支え、1刻(2時間)のうちにお焚きあげを行ないます。実行する方位は東・東南・南・東北・南西が特によい。

井形焼法(いがたしょうほう)

吉方位に、長さ約30センチ、直径約1.5ミリの小枝を井形に5段に組んで、地下5センチぐらいに掘った中で燃やします。灰になったら、周りの土で覆って平らにします。

仏閣参拝

吉方位の仏閣へお参りし、ろうそくと線香をあげてきます。特に線香の場合、その出す煙を体に浴びた上で、お祭りしてある仏様に願い事を祈ります。観光客の集まる大きな仏閣になると、山門を入るとお線香を燃やす場所が用意されており、参拝客がその煙を体の悪い部分に当てたりしていますが、これはまさに火気術です。その仏閣には、ある程度の時間留まって、和尚さんとよもやま話をするのもよろしい。留まる時間は2時間以上といわれていますが、自分が納得するまででよいでしょう。

③坤命土気の法

戊己年生まれ・庚辛年生まれ・丙丁年生まれの者が用いると、特に効果があります。他の干の生まれの者は、丙・丁・戊・己・庚・辛の年が巡るときに行なうとよいでしょう。

目的

家運の挽回や、家業の繁栄、健康の回復には特によい。運氣に抵抗力を付けるといわれます。

神社からお砂をいただく。

この術は、以前より「お砂取り」「土砂修法」と呼ばれ、開運法のひとつとして広く行われてきたもので、その効果も目を見張るものがあります。「困ったときにお砂取り」などともいわれております。ところが、伝えられている方法が何種類もあり、いったいどれが正しいのか判断に苦しむところです。簡単にいえば、吉方位より土砂を採取し、自分の屋敷に撒く開運法です。

吉方位にある神社に行き、ご挨拶したあと、神社の乾いた砂を採取します。人がなるべく踏まない場所の砂を探してください。古い神社の場合、社殿の床下が開いている場合が多く、そこにある砂が採取しやすいでしょう。ただし、最近の神社はコンクリートで地面が整備されているところが多いようです。その場合は神社で砂をもらうことは不可能ですので、神社ではなく、その周辺の砂で代用します。また、神社によっては、砂の採取場を設けているところもあります。

採取する砂の量ですが、手のひらにのる程度(約100グラム)が最適です。湿った砂や枯葉等の混じった砂は避けたいところですが、どうしても湿った土しか入手できない場合は、持ち帰って広げておき、天日でまる一日乾燥させます。また、粗い砂(砂利)は避けましょう。砂の粒子が細かければ細かいほどよいのです。自宅から神社までの距離は、近くてもかまいません。なるべく遠くの神社を、という説は間違いです。

④白虎金気の法

金属を用いて開運する方法です。金属製の玉を用意して、吉方位の大地に埋めてきます。いわゆる「玉埋め」と称されるものです。長らく秘伝とされてきた技法ですが、気学の大家である富久純光先生が、著書『修訂気学傾斜秘法[全]』(東洋書院)で公開されました。※申し訳ございません、内容は省略いたします。詳しくは、林先生の著書「現代方位術大全」にてご確認ください。

⑤玄武水気の法

庚辛年生まれ・甲乙年生まれ・壬癸年生まれの者が用いれば、特に効果があります。他の干の生まれの者は、壬・癸・甲・乙・庚・辛の年が巡るときに行なうとよいでしょう。

目的

健康回復、および増進、運氣の増大には特によい。一般的な開運にも使用できます。

お水取りの法

吉方位の清浄な泉井から水をくみ取ってきて、毎日その水を飲む方法です。井戸水はできるだけ深いものか、日射の当たらない吹き出るような水が最適です。十日目ごとに取りに行きます。水を飲むのはできるだけ朝食前がよろしい。

※この方法は衛生面から、現実的な方法ではございませんので、林先生が考案された代替策として、以下を参考にしてください。

吉方位で醸造された地酒、地ビールを購入し、飲み続けるというのはいかがでしょうか。

一般に地酒そのものは、原料の水に大変こだわったものが多く、また現地で発酵・醸造したものですから、湧き水以上の効果が得られること請け合いです。

また、次善の策として、お水を風呂に入れ、それに浸かるということも行います。

神社には、お水取り用の井戸が用意されているところもありますが、もし、それが水道の水であれば、吉方位ではなく他の方位の水源から流れてきたものであり、意味がありません。

以上、木火土金水の五気に則った開運の方位取りを述べました。

どれかひとつだけを実行してもいいのですが、たとえば、お砂取りのあとに寺院を訪問したり、その後、地酒を飲んで温泉につかる、というように組み合わせて実行すれば、より高い効果が得られるでしょう。

以下は、林先生が実際に行っている効果抜群の秘術です。

問題解決に効果抜群の秘術

最後にもうひとつ、筆者とっておきの手法を公開しましょう。

主に問題の解決に使用して絶大な効果があり、筆者自身もひんぱんに用いているものです。

まずは金函玉鏡で吉方位を割り出し、たとえば、ある地方の温泉地を目的地に決めたとします。

1泊の開運旅行です。この旅行の最大の目的は、今抱えている問題の解決法を見だし、下降ぎみの運を上昇させることです。

そのために筆者が実践するのは、だれにでもできるような簡単なことです。

その温泉地にノートを持参し、解決すべき問題点とあるべき姿(問題が解決したあとの姿)を、あらゆる角度から考えつくかぎり列記するのです。ただし、その時点では解決策は求めません。

もちろん、寺院へ詣でたり、お砂取りを実行するなど、これまで紹介してきた方位取りのうち、その日の気分でどれかを実践します。旅行を終えて帰宅後、そのノートを再読・分析します。すると、ほとんどの場合、方位効果が明確に発現し、即座に解決策がひらめきます。また、そのときはうまくいかない場合でも、時間を改めて再分析すれば、自ずと解決策が見つかるようになるのです。

この方法は、問題解決において非常に効果がありますので、ぜひ実行してみてください。

6. 出発時間は自然時を使用

ここではまず、出発時間に関する基本的なお話をさせて頂きたいと思います。

金函玉鏡の出発時間は、※標準時ではなく自然時です。

明石市の東経135度を標準時とします。日本における今現在の時刻。

明石市より西は現在の時間を東経の度数分マイナスし、東は東経の度数分プラスして時刻を割り出します。

※標準時の定義について「東経135度の子午線の時」をもって日本における一般の標準時と定めています。

全国の主要都市の標準時と自然時の時差を書き出しましたので、参考にしてください。

※現在の時刻に以下の分数を足したり引いたりした時間が自然時となります。時盤は、自然時を基に出発時間を決定します。

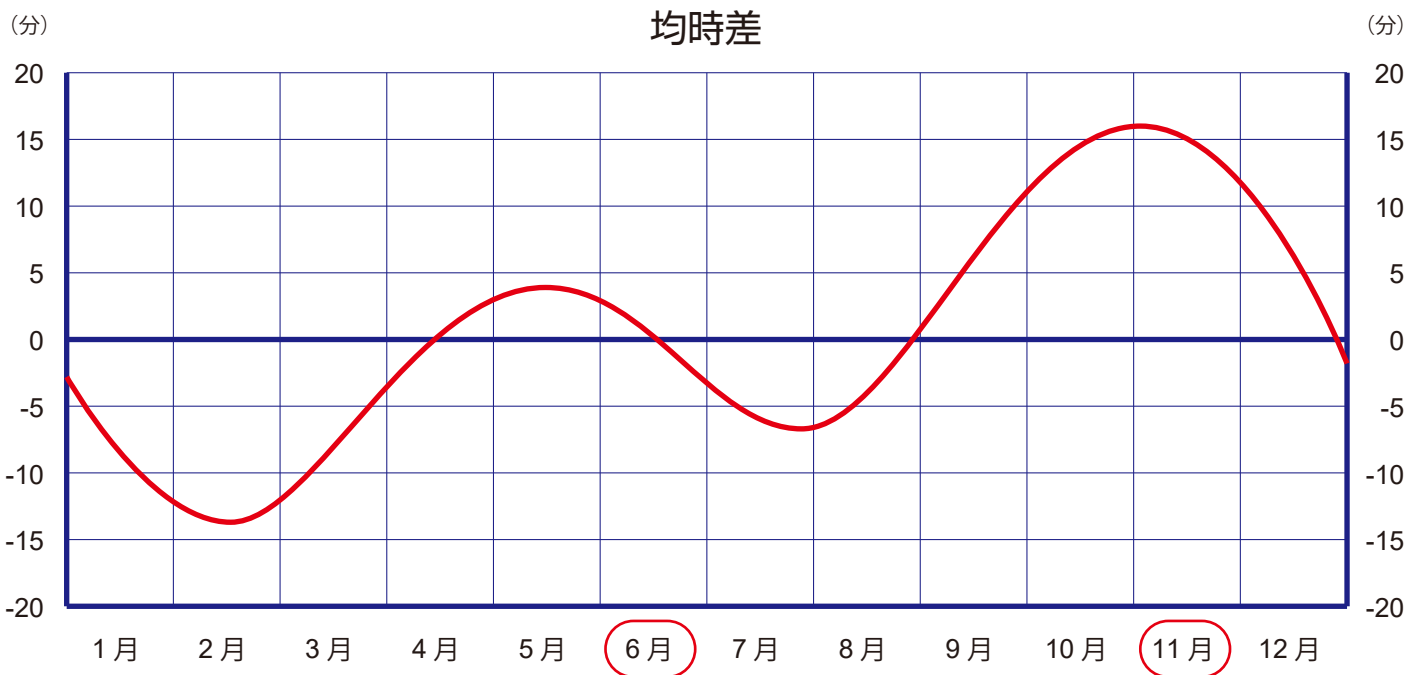
札幌 +25分 / 秋田 +20分 / 仙台 +22分 / 宇都宮 +18分 / 東京 +18分 / 新潟 +15分 / 長野 +12分
金沢 +5分 / 静岡 +12分 / 名古屋 +6分 / 奈良 +2分 / 大阪 +1分 / 岡山 -6分 / 広島 -12分
山口 -16分 / 高知 -6分 / 福岡 -20分 / 長崎 -22分 / 鹿児島 -20分 / 那覇 -31分

※奇門遁甲(上巻)黒門著 p72 より引用

均時差を加味すると、より正確に時刻を割り出せます。

均時差とは、地球の自転は、24時間で1回転しますが、実際は季節により、早くなったり、遅くなったりします。それは、太陽を回る軌道が、真円ではなく楕円になっているからで、太陽から遠いと動きが遅く、近いと動きは早くなります。その差異が「均時差」です。

以下は季節による、均時差です。おおよその時差になります。



均時差を加味した例を示すと、6月15日に測定したと仮定し、均時差表を参照すると、6月15日に赤のラインが0分と交差しますので、均時差は無しになり、自然時のまま。

もう一つ例を挙げます。

測定した月日が11月15日の場合、赤のラインがプラス15分と交差しますので、自然時に15分を足します。

これは基本中の基本なので覚えておいてくださいね。

7. 目的地への出発時間 奇門遁甲の時盤を利用する場合

目的地が決まれば、次は下の奇門遁甲時盤より、自宅を出発する時間を決めます。

こちらの方法は、奇門遁甲の時盤を使って、出発時間を自由に選択できます。

月に一度の貴重な吉方位取りをさらに効果的に、自由自在に吉方位や出発時間の選択が可能となります。

出門(吉方歩き)

黒門氏の紹介している時盤の利用方法のひとつである、出門(吉方歩き)。

日帰りや一泊旅行の方位取りへ向けて出発する際、**タイミングの良い時間帯に吉方位がない**ことはよくあります。

そういう時のための「時盤」の利用法を紹介。

方位取りへ出発する時間帯の時盤が吉方位ではない場合、同じ時間帯の時盤の中で、吉方位を探します。

自宅から、探した吉方位に向かって5分～10分移動し、5分～10分留まり、その場から直接方位取りの目的地へ向けて出発します。

徒歩の場合でも自転車・自動車でも同じ方法になります。

もちろん、目的地へ向けて出発する際、タイミング良く、その時間帯が吉方位の場合は、そのまま目的地へ向けて出発します。

出門(吉方歩き)の一例をあげておきます。

方位取りの目的地が「西」なのに、出発当日の時盤が以下のような場合。

当日の時盤の西は凶方位なので、自宅から直接目的地へはいけません。

その場合、出発を予定している時間帯の時盤より、吉方位を探し、その探した吉方位(例では東)へ向け、5分～10分程度移動し、その場に5分～10分滞在。そしてその場から目的地へ向け出発します。**※移動場所から目的地が吉方位じゃなくてよい**

<p>南東 (巽) 利益・繁盛・柔和・信用・商売・恋愛・交際 ■傷門の象意 中凶門/狩猟・捕獲・ギャンブル・株等・投機・その他凶 己 天任 癸 傷門 勾陳 総合 20点 ■天地剋応 ●地刑玄武 病気や怪我、刑罰の恐れあり ■吉格 ■凶格</p>	<p>南 (離) 明智・美麗・礼儀・装飾・発明・発見 ■杜門の象意 中凶門/避難・潜伏・逃亡・身を隠す事・その他凶 丁 天冲 戊 杜門 六合 総合 40点 ■天地剋応 ●青龍転光 勤め人は昇進、自営業は繁栄 生活は安定、学問文化方面吉。 金運 ■吉格 ■凶格</p>	<p>南西 (坤) 柔順・温厚・正直・安静・謙虚・平凡 ■試験：■■■■■ ■景門の象意 中吉門/試験・著作・競争・文章に関わる事吉/口論に注意/閃き・雄弁 癸 天輔 丙 景門 太陰 総合 60点 ■天地剋応 ●華蓋字師 安定した運。身分に関係なく喜びごとがある ■吉格 ■凶格</p>
<p>東 (震) 発奮・勇敢・発展・成功・繁栄・才能・独立 ■生門の象意 上吉門/求財・就職・面接・商業・治病・建築等・百事吉/葬儀・埋葬は不向/活気・積極的な行動は吉/活力・バイタリティ 乙 天蓬 丁 生門 朱雀 総合 50点 ■天地剋応 ●奇儀相佐 文章に関する事で百時に吉 ■吉格 ●乙奇昇殿 乙奇の吉意が増す。安定・和合・平穩 ■凶格</p>	<p>時盤 2021年 9月 1日 9時～11時 辛亥 陰9局 甲尊：壬 地盤：壬 季節：秋月 活盤 奇門遁甲</p>	<p>西 (兌) 歓喜・柔和・親愛・娯楽・厚情・雄弁・色情・誘惑 ■死門の象意 大凶門/葬儀・埋葬・その他大凶 戊 天英 庚 死門 騰蛇 総合 -10点 ■天地剋応 ●值符飛宮 吉事も吉とならず。凶時はさらに凶となる ■吉格 ■凶格</p>

7. 吉方位取り以外に金函玉鏡盤を利用する方法

金函玉鏡といえば、吉方位取りに利用する方法が主な利用法になります。

しかし、月に1度の方位取りのみの利用では、せっかくの金函玉鏡のパワーをほとんど眠らせたまま。

そこで、金函玉鏡を日ごろから利用しようというのが、本ページの内容です。

まず最初に、1ページにある、金函玉鏡盤をご覧いただき、⑤ 門の特徴 ⑦ 運気が増す方位をご覧になり、どの門がどのような利用法に向いているのかを理解していただきたい。

そして、各方位のマスの方角にある、⑨ 九星の象意・特徴などの意味を加味して、どのように吉方位を利用するか、または利用目的に合わせて、吉方位を選んでほしい。

例えば、ビジネスで利用する場合は、生門が吉方位にあたる方位を利用して、商談に出かけるとか、景門が吉方位にあたる方位を利用して、入学試験や資格・昇給試験に臨むなど、利用方法は無限大。

また、1ページの金函玉鏡盤の、⑥ 具体的な使用例とありますが、この部分は、金函玉鏡の先駆者である、林先生が実際に使用したり、鑑定をした結果、かなりの効果があった使用例を挙げておりますので、この部分も参考にしてください。

もちろん、その時の出発時間も、金函玉鏡の出発時間や奇門遁甲の時盤を利用して出発する必要があります。

まだまだ奇門遁甲に比べ、認知度は低いものの、金函玉鏡は、利用した多くのみなさまも効果を実感しており、数ある現代の方位術において、今後ますます広がりを見せるものと期待しております。

皆さまにおかれましては、金函玉鏡をあらゆる場面でご活用いただき、更なる開運・運氣アップを実現されてください。